

## 事業所の取り組みの例

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減に向け、次のような取り組み例が挙げられます。

### ◇ 省エネルギーの徹底

- ・ エネルギー使用量の把握や徹底したエネルギー管理を行うことで、効率的なエネルギー利用に努めます。
- ・ 昼休み中はオフィス照明の全部又は一部を消すなど、電気の節約に努めます。
- ・ 空調は、冷房は 28℃、暖房は 20℃程度を目安に温度設定をします。
- ・ ブラインドを活用して、オフィスの効率的な温度管理に努めます。
- ・ OA 機器は、昼休みなど長時間使用しない場合は、こまめに電源を切るか、省電力設定にしておきます。

### ◇ 省エネ型設備の導入

- ・ 空調機器、冷蔵・冷凍機器、給湯器等の設備を更新する際には、トップランナー機器等の高効率設備を導入します。
- ・ インバータ形式の照明器具や省エネルギー型の OA 機器の導入などに努めます。
- ・ 石油ストーブ、ガス機器、給湯器は、エネルギー効率の良い製品の購入に努めます。
- ・ 省エネルギー型のボイラーを導入するなど、効率のよいエネルギー使用に努めます。

### ◇ 建築物の省エネルギー化

- ・ ビルを新築、改築する際には、断熱材や複層ガラス窓の導入など省エネルギー性能の高い建築物の設計を行います。

### ◇ エネルギー転換効率の向上

- ・ 電気・ガス事業者においては、発電・送電・ガス供給段階での効率的なエネルギーの利用を図るとともに、再利用可能なエネルギーの利用に努めます。

### ◇ 新エネルギーの導入及び利用

- ・ 太陽光発電システムや太陽熱利用システム等の自然エネルギーの導入に努めます。

#### ◇ 環境にやさしい自動車の利用

- ・ 計画的に低公害車、低燃費型自動車の導入を図ります。
  - ・ 自動車を利用する際には、スマートドライブを実践し、無駄の少ない効率的な燃料消費に努めます。
- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>（ 不要なアイドリングをしません。</li> <li>    タイヤの空気圧を適正に保ちます。</li> <li>    早めのアクセルオフに努めます。 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>急発進・急加速をしません。</li> <li>不要な荷物を積みません。</li> </ul> |
|---|---|

#### ◇ 効率的な輸配送システムの導入

- ・ 自家用貨物車から営業用貨物車への転換を図ります。
- ・ 共同輸配送システムや最適配車システムの導入を進めます。
- ・ 適正な在庫管理に取り組みます。
- ・ 帰り荷の利用促進を図ります。
- ・ 鉄道輸送と連携した物流の効率化を図ります。

#### ◇ ごみの発生抑制・リユース・リサイクル

- ・ 環境にやさしい素材を用いた製品の提供や環境負荷の少ない製品・サービスの開発提供に積極的に努めます。
- ・ 片面使用済み用紙の再使用に努めます。
- ・ 大量にごみを排出する事業所や延べ床面積 1,000 m<sup>2</sup>以上の事業所では、ごみ減量計画書等による計画的な減量化に努めます。
- ・ 小売店等は、リターナブルびんやトレイ、ペットボトル、紙パックなどの店頭回収を積極的に行います。
- ・ 工場・事業所での分別の徹底により、資源化率の向上に努めます。

#### ◇ 緑地の保全、緑化

- ・ 工場・事業所でできる緑地の確保に努めます。
- ・ 間伐材や廃材の需要拡大を図り、木材資源の有効利用に努めます。

## ◇ 二酸化炭素以外のガスの削減

- ・メタンガス、一酸化二窒素、フロンガスの排出削減のため、燃料の燃焼及び廃棄物の焼却の適正管理に努めます。
- ・温室効果ガスであるフロン類を冷媒に使用しないノンフロン冷蔵・冷凍機器、建材用断熱材等の導入に努めます。
- ・フロン類を使用した業務用冷蔵・冷凍機器、業務用エアコン等の廃棄時には、県の登録を受けたフロン類回収業者に回収を依頼し、適正処理に努めます。
- ・農畜産業においては、メタンや一酸化二窒素の排出要因となる農畜産廃棄物の適正処理に努めます。
- ・農業における化学肥料の使用は、一酸化二窒素排出の要因となることから、化学肥料の使用低減に努めます。

## ◇ 従業員への環境教育の推進

- ・環境に関するセミナーの受講や環境教育テキスト等を活用した研修会の実施、国や地方自治体などの行う環境保全活動への協力や普及啓発など、従業員の環境教育を進めることで、環境に関する意識の改善に努めます。